

牧師所感： John F. Kennedy の演説
— 1961年1月20日の就任 —

昨今、世界の話題になっているのは、アメリカの大統領選挙の話題であろう。アメリカ大統領の任期が話題になる前は、世界の関心はロシアとウクライナの、イスラエルとハマス（アラブ）の戦争の話で持ち切りだった。

ところが日日が経ち、アメリカ大統領の選挙が近付いてくると、世界の話題は突如、アメリカ大統領選挙に替えられた。何と気の早い人々の関心であろうか。

筆者は毎日個人の祈りと、主日の礼拝の時の祈りの時間には、ロシアとウクライナ、イスラエルとハマスの戦争が一日も早く終結するようと、主なる神様に真剣に祈る。罪のない子どもたち、軍人以外の無垢な人々の犠牲は、一日も早く終わらせなければならない。

さて、ふとしたことで、アメリカ歴代大統領の治世の歴史を読みたくなった。

『世界を変えた25人の演説』集をひもと 繙いた。25人の世界を変えた人士の中で、アメリカの35代大統領であったジョン・F・Kennedyの演説を開いた。

Ask not what your country can do for you；
祖国が皆さんの為に何をするかを聞くのではなく、

ask what you can do for your country.
皆さんのが祖国の為に何をすべきかを自問して下さい。

筆者はこの演説を読む瞬間、雷に打たれたような自身を発見した。

私は牧師だ。牧会開始以来、このような精神で祈って来たかを自問した。

「神よ！私は今まで長い牧会生活の間、常に神様から戴くばかりの祈りをして参りました。申し訳ございません。主なる神よ、貴方様はその都度、利己的な祈りも聞いて下さいました。今は大いに恥じています。余生幾ばくもありませんが、貴方様の為に何が出来るかを考え、余生を送る所存でございます。」

とりわけ、故John F. Kennedyの問い合わせがアメリカ次期大統領に継承されますように。と祈る！！